



岐阜大学機関リポジトリ

Gifu University Institutional Repository

9. センターフォーラム 「地域における日本語教育：岐阜地域の多文化共生を考える」 (2002年度・2003年度前学期)

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2022-12-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 橋本, 慎吾 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12099/3407

9. センターフォーラム

「地域における日本語教育 ―岐阜地域の多文化共生を考える―」

留学生センター講師 橋 本 慎 吾

留学生センターでは「地域における日本語教育 ―岐阜地域の多文化共生を考える―」と題したフォーラムを、2003年3月8日、岐阜グランパレホテル5階カトレヤの間で開催した。このフォーラムでは、岐阜地域における日本語教育、多文化共生の状況について、各方面からパネラーをお招きし、報告、討論を行なった。

以下概略を述べるが、フォーラムの詳細については、『フォーラム報告書』を発行しているのでそちらをご参照いただきたい。なお報告書は pdf ファイルでもご覧いただける (<http://www.gifu-u.ac.jp/~isc/Japanese/forumr.pdf>)。

フォーラムでは、まず基調講演として、山形大学教育学部教授の高木裕子先生に「山形県における日本語教育と多文化共生」と題しお話しいただいた。初めて山形に赴任してから現在に至るまでの様々な試み、行政とのやりとりなどを通じ、山形県でどのように「共生」が整えられてきたのかを、ご自身の体験をベースにご講演いただいた。

次に岐阜大学留学生センターの中須賀徳行教授から「岐阜県における日本語教育の概要」について報告があった。

後半は講演者お二方に加え4人のパネラーの方々によるパネルディスカッションが行なった。まず馬淵直子氏（大垣市西小学校教諭）から、小学校における外国人児童の教育について、舟橋月江氏（小牧市味岡中学校非常勤講師）から中学校における外国人生徒への教育についてそれぞれ報告があり、続いて清水恵美氏（可児市国際交流協会）から可児における外国人への日本語教育の取り組みについて報告され、最後に東海日本語ネットワークの米勢治子氏からコメントとして、東海地域の日本語教育ネットワークについての報告をいただいた。

その後行なわれた質疑応答でも活発な討議がされ、多文化共生に対する関心の高さがよくわかるフォーラムとなった。

このフォーラムは留学生センター初代センター長を勤められた中須賀徳行教授の退官記念として企画された。中須賀先生の講演は、退官記念講義の意味合いもあった。またパネラーの選出・依頼も中須賀先生がご尽力くださり、充実したフォーラムが開催できた。これからも様々な形で留学生教育・多文化共生にお携わりになることを期待するところである。

最後に、フォーラムにご参加いただいた皆様、並びに関係者各位にお礼申し上げます。